

家庭用
**スチーム式
加湿器**
取扱説明書
保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。


もくじ
はじめに

- 1 安全上のご注意 …………… 2
 2 各部のなまえ …………… 6

使いかた

- 3 加湿のしかた …………… 7
 4 チャイルドロックの
 セットのしかた …………… 10
 5 使い終わったら …………… 10
 6 お手入れのしかた …………… 12
 消耗品・別売品の
 お買い求めについて …… 14

困ったときは

- 7 故障かな?と思ったら … 15

その他

- 仕様…………… 16
 保証とサービスについて … 17
 連絡先…………… 17

点検・修理などを依頼される時などに記入しておくくと便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名			
TEL	()	

日本国内 100V 専用
 交流 100V 以外の電源では
 使用できません。

ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷¹を負うことが想定される内容を示します。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害²を負うことが想定されるか、または物的損害³の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



注意

△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



禁止

⊘記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



指示

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

警告



分解禁止

改造はしない。

修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

火災・感電・けがの原因。



禁止

交流100V以外では使わない。

火災・感電の原因。



必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。



禁止

電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。

（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。



必ず実施

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。

火災の原因。



必ず実施

差込プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれ。



禁止

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。

感電・けがのおそれ。



禁止

器具用プラグをなめさせない。

乳幼児が誤ってなめないように注意する。
感電やけがの原因。



警告



禁止

器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やごみを付着させない。

感電・ショート・発火の原因。



水ぬれ禁止

本体や電源プレートを丸洗いや、水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電・発火のおそれ。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。

転倒させると熱湯がこぼれたり、けがをするおそれ。



接触禁止

蒸気孔や本体にさわったり、顔などを近づけない。

やけどの原因。吹出蒸気温度：約75℃



禁止

不安定な場所や、毛あしの長いカーペットなどの上に置かない。

転倒して熱湯が出てやけどのおそれ。安全装置の誤作動の原因。



禁止

本体接続部や電源プレート接続部に、ピン・針金など金属物（異物）を入れない。また、ごみを付着させない。

感電・ショート・発火の原因。



禁止

蒸気孔をフキンなどでふさがない。

熱湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。また、ふたの変形の原因。



禁止

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。

ふたをしめていても、傾けたり倒したりしない。熱湯が流れ出て、やけどのおそれ。



禁止

本体を転倒させない。

ふたをしめていても、傾けたり倒したりしない。熱湯が流れ出て、やけどのおそれ。



禁止

電源プレートを落としたり、衝撃を加えない。

過熱や異常動作、感電の原因。



禁止

水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置いて使わない。

ショート・感電・故障の原因。



禁止

蒸気孔にはアロマオイルを絶対に入れない。

故障の原因。



禁止

蒸気孔ふたははずしたまま使わない。

やけど・故障の原因。



必ず実施

ふたパッキンが白く変色したら交換する。

倒れたときに熱湯が流れ出て、やけどのおそれ。



必ず実施

お手入れするときや、水をすてる

ときは、差込プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。

感電・やけど・けがのおそれ。



必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。

そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。

〈異常・故障例〉

・電源コードやプラグが異常に熱くなる。

・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

・いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。

・本体から水もれする。

・その他の異常や故障がある。

すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

1 安全上のご注意

⚠ 注意



プラグを抜く

使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。



必ず実施

必ず差込プラグを持って引き抜く。感電やショートして発火するおそれ。



禁止

この製品専用の電源プレート以外には使わない。電源プレートを他の機器に転用しない。

故障・発火のおそれ。



禁止

タコ足配線はしない。

火災のおそれ。



禁止

蛇口から直接水を入れたり、底面をぬらさない。

本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。



禁止

壁や家具・カーテン・天井などの近くで使わない。

シミがついたり、カビの発生・変形の原因。



接触禁止

ふたをはずすときに出る蒸気や露にふれない。

やけどの原因。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。

やけどの原因。



禁止

本体を持ち運ぶときは、ふたとっ手にふれない。

ふたが開いて、けがややけどをするおそれ。



禁止

熱に弱いテーブルや敷物などの上で使わない。

テーブル・敷物の変色・変形の原因。



禁止

使用中や使用後はお手入れをしない。

高温部にふれ、やけどの原因。



禁止

電子機器や電気製品、ピアノや特殊な塗装の高級家具、壁紙や特殊な表面加工の壁面などの上や近くには設置しない。

蒸気が触れたり、転倒して水をこぼしたりすると、機器の故障やものの表面を傷める原因。



禁止

加湿しすぎない。

長時間連続で加湿すると、結露などで室内をぬらしたり故障の原因。



必ず実施

テレビ・ラジオ・コードレス電話・エアコンなどから1m以上離して置く。

テレビ画面のチラツキや、雑音が入るなど電波障害の原因。



禁止

内容器のお手入れに洗剤は使わない。

洗剤から有害ガスが発生し、健康を害したり、故障の原因。



必ず実施

市販のアロマオイルを使う場合は、必ず以下の事項を守る。

故障の原因。
アロマオイルは必ず天然抽出成分100%のエッセンシャルオイル(精油)を使い、合成香料などを使わない。



禁止

丸洗いしない。

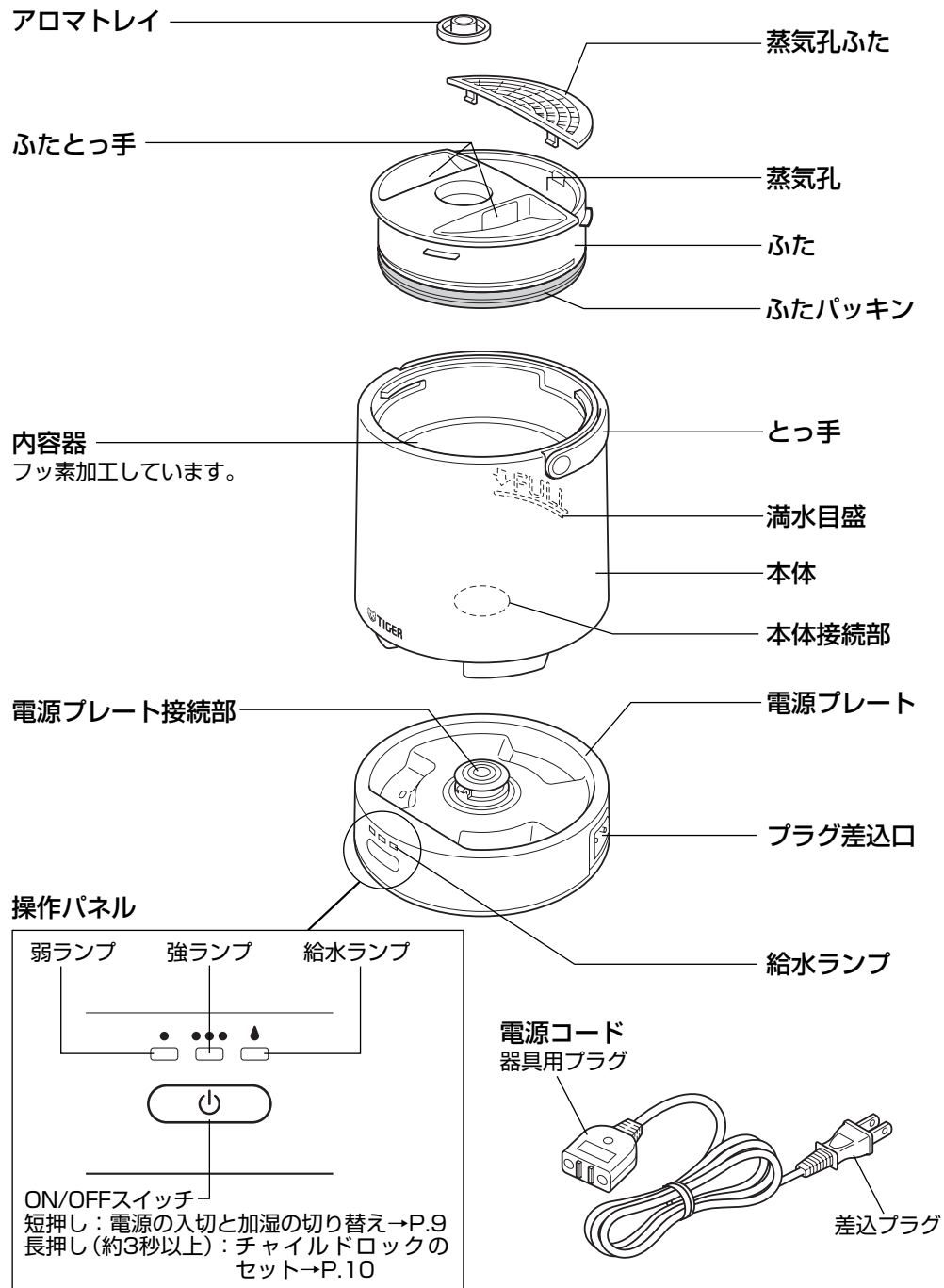
ショート・感電・故障の原因。

● 未永くご使用いただくために、必ずお守りください。

- 内容器に水道水以外の水を入れない。
 - ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水などを入れると、カビや雑菌が発生しやすい原因。
 - ・お湯(40℃以上)や化学薬品、アロマオイルなどの芳香剤、洗剤を入れた水を入れると、本体の変形、変色、破損、故障の原因。
- 内容器の水は毎日新しい水道水と交換する。また内容器は週2回程度定期的にお手入れする。
 - 汚れや水あかで性能が低下したり、悪臭がするおそれ。内容器やふたに水アカが膜状になって付着し、故障のおそれ。
- 直射日光が長時間あたる場所では使わない。
 - 本体が熱くなるなど、故障の原因。
- カラだきをしない。
 - 水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。

- 凍結しないように、使わないときは、内容器の水をすてる。
 - 凍結したまま使うと故障の原因。
- 本体をさかさにして置かない。
 - 底部が水にぬれていると、底部から水が入り、故障の原因。
- アロマオイルを、アロマトレイ以外のプラスチック部分に直接かけない。
 - 故障や変形の原因。

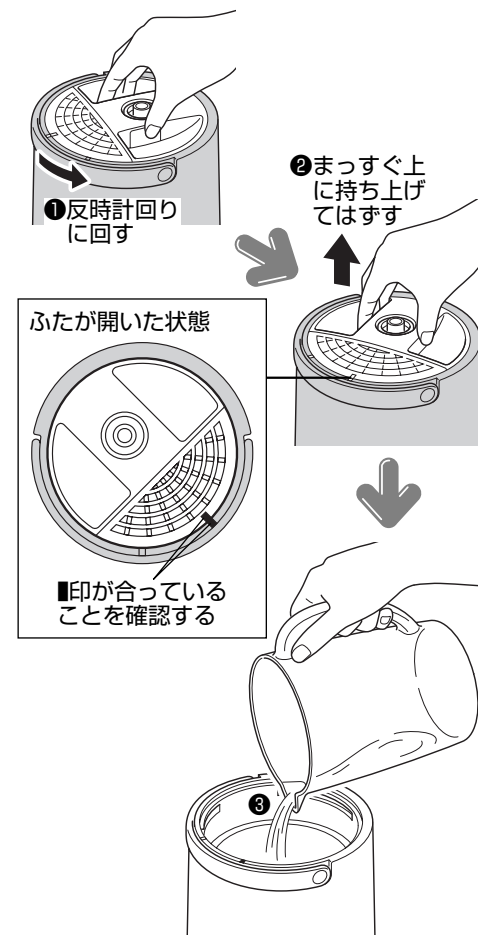
2 各部のなまえ



3 加湿のしかた

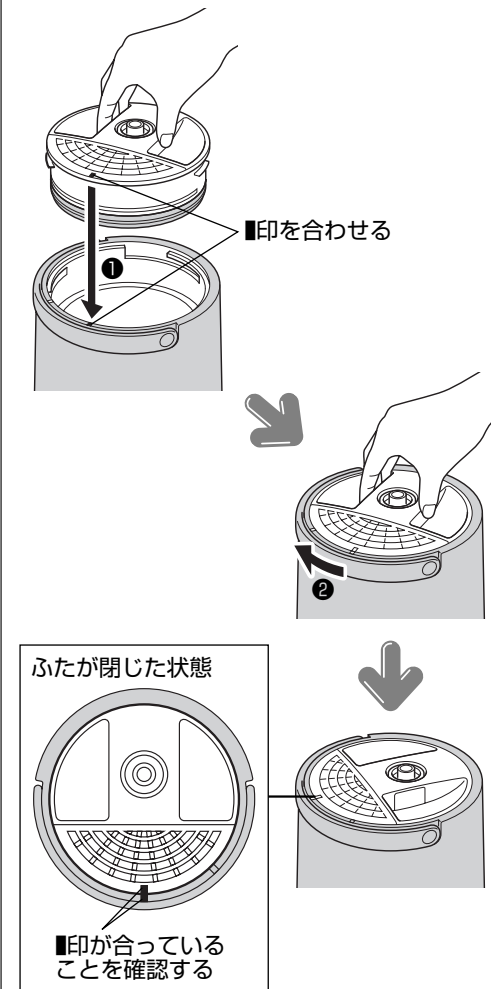
1 本体を電源プレートにのせる前に、ふたをはずして、本体に水道水を別の容器で入れる。

- 注意**
- 水は、必ず水道水を入れる。
 - お湯を入れない。やけどや故障の原因。
 - 水を蛇口から直接入れたり、ぬれた場所に置いて底面をぬらさない。
 - 満水目盛を超えて水を入れない。
 - 電源プレートに本体をのせたまま水を入れない。電源プレートや本体の故障の原因。



2 ふたをつける。

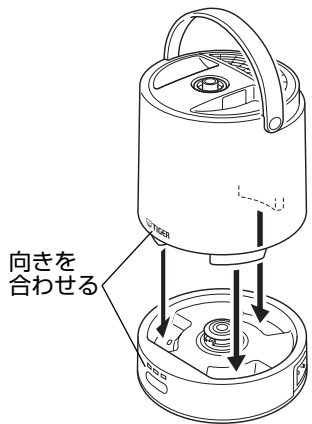
※ふたが確実にしまっていないと、運転しません。確実にしめてください。
※ふたの「カラカラ」という音は、万一転倒した場合、お湯の流出を防止する弁(せんバルブ)の音です。



3 加湿のしかた

3 本体を電源プレートに確実にのせる。

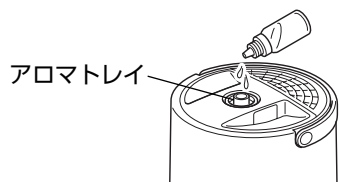
スイッチが「OFF」になっていることを確認する。



向きを合わせる

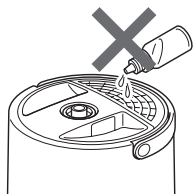
4 アロマトレイに市販のアロマオイルを入れる。

※アロマトレイの向きは正しい向きにセットする。
※本製品にアロマオイルは付属していません。市販の天然抽出成分100%のエッセンシャルオイル(精油)を別途お買い求めください。



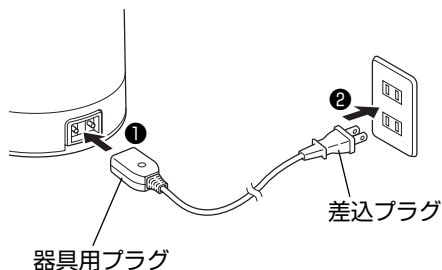
アロマトレイ

蒸気孔にはアロマオイルを絶対に入れない。



- で注意**
- アロマトレイをセットしない状態で、アロマオイルを入れないでください。
 - オイルを入れなくても本体は使用できます。
 - オイルの種類によってにおいの度合いが違いますので、オイル購入時にアドバイスを受けてください。
 - オイルの使用上の注意を守ってください。
 - オイルをこぼしてしまった場合、すぐにふきとる。プラスチック製のものにこぼしたままにしておくと、変色や変質、破損の原因。
 - アロマセラピー(芳香療法)は医療や医学ではありませんので、体質にあわない場合は使用をやめてください。

5 器具用プラグをプラグ差込口に、差込プラグをコンセントに差し込む。

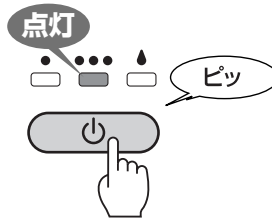


器具用プラグ

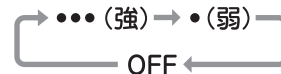
差込プラグ

6 ON/OFFスイッチを押す。

●●●(強)ランプが点灯し、約15分後に蒸気が出はじめます。



押すごとに電源のON・OFFと加湿のランプ(強・弱)の点灯が切り替わります。



※はじめてお使いになるときに、煙が出たり、においがあることがあります。故障ではありません。また、樹脂などにおいがすることもありますが、ご使用とともに少なくなります。
※部屋の温度・湿度によっては、蒸気が見えにくい場合があります。

加湿中は、自動的にヒーターへの通電をON・OFFするため、蒸気が連続して出ませんが、故障ではありません。

加湿のランプ	ヒーターへの通電(ON・OFFの繰り返し)	
	ON時間	OFF時間
強	約4分30秒	約5分
弱	約1分30秒	約5分

カラだき防止機能について

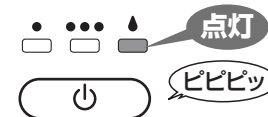
水が入っていない状態で加湿を始めると、給水ランプが点灯し、加湿が止まって「ピピピッ」と音が鳴ります。→P.15

少量での運転開始について

少量の水で運転を開始された場合、短時間で給水ランプが点灯することがあります。(目安として、満水の1/3以上の水を入れてください。)

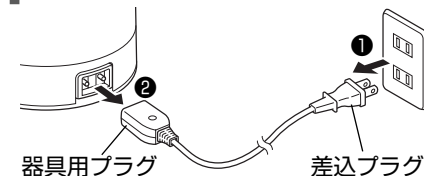
給水ランプが点灯したら…

内容器の水が少なくなる(約200mL以下)と、給水ランプが点灯し、加湿が止まって「ピピピッ」と音が鳴ります。



以下の手順で、本体を電源プレートからはずして、給水ランプを消灯させてください。

1 差込プラグと器具用プラグを抜く。

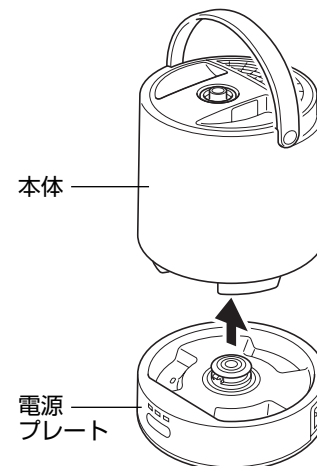


器具用プラグ

差込プラグ

2 本体を十分に冷ます。

3 電源プレートから本体をはずす。



本体

電源プレート

※続けて使用する場合は、P.7の手順1からやり直してください。

4 チャイルドロックのセットのしかた

お子さまのいたずらや誤操作を防ぐために、ON/OFFスイッチをロックして、操作できないようにすることができます。

■ロックのしかた

電源が入っていない状態、または加湿中に、ON/OFFスイッチを長押し(約3秒以上)する。ON/OFFスイッチがロックされます。



〈チャイルドロック中〉

電源が入っていない状態で、ON/OFFスイッチを押すと「ピピッ」と音がして、操作できません。

※加湿中にチャイルドロックをセットした場合、安全のためON/OFFスイッチを押すと、「ピピッ」と音がして弱ランプまたは強ランプが消灯し、加湿が止まります。

加湿が止まった後も、チャイルドロックはセットされています。

■ロック解除のしかた

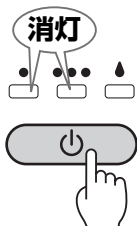
電源が入っていない状態、または加湿中に、ON/OFFスイッチを長押し(約3秒以上)する。



5 使い終わったら

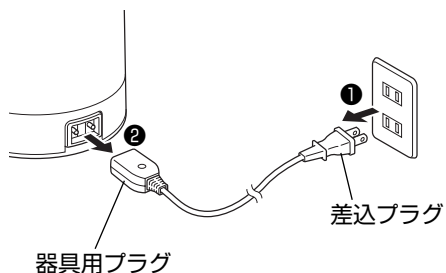
ご注意 内容器の水は、毎日新しい水道水と交換する。また、内容器に残った水は、毎日すてる。変色やにおいの原因。

1 ON/OFFスイッチを「OFF」にする。



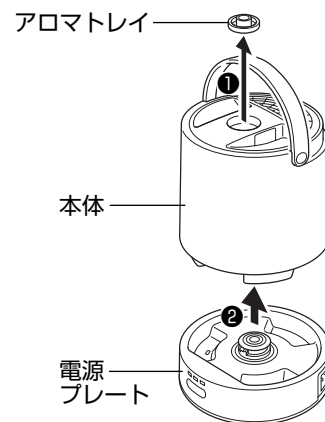
ご注意 器具用プラグや差込プラグを抜いて、運転を停止しない。

2 差込プラグと器具用プラグを抜く。

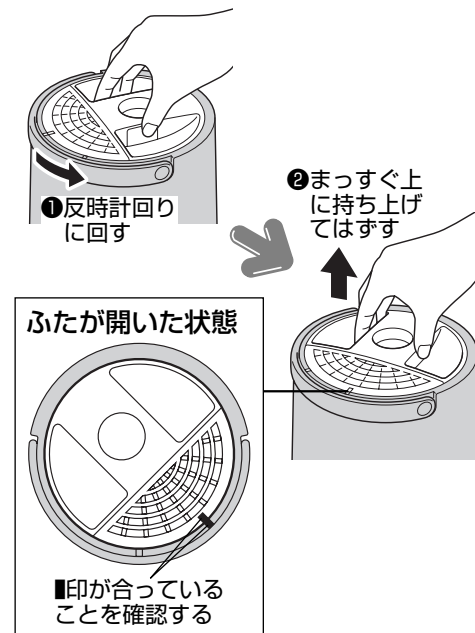


5 使い終わったら

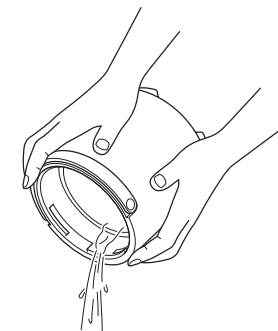
3 本体が冷めた後、アロマトレイを本体からはずし、本体を電源プレートからはずす。



4 ふたをはずす。



5 とっ手を押さえながら、内容器に残った水をすてる。



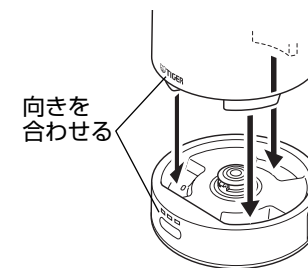
ご注意

- 水をすてるときは、本体が冷めてからすててください。お湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因。
- 内容器にお湯を残さない。変色やにおいの原因。

6 お手入れする。(12～14ページ参照)

7 ふたをつける。(7ページ参照)

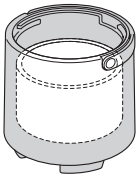
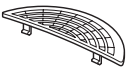

8 本体を電源プレートに確実にのせる。






6 お手入れのしかた

注意 ON/OFFスイッチを「OFF」にして、差込プラグと器具用プラグを抜く。本体が冷めて、内容器の水をすててからお手入れする。

常に清潔に保ち、性能低下・悪臭を防止するためにこまめにお手入れすることをおすすめします。

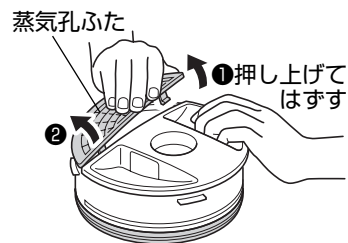
各部	お手入れのしかた
内容器 	週2回程度、内容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、やわらかいスポンジでふき取った後、すすぐ。(外側はぬらさない。) ※内容器が汚れてきたら、クエン酸洗浄する→P.13 ※丸洗いはしない。
蒸気孔ふた 	月2回程度、水でスポンジを使って洗い、乾いた布でふく。
ふた 	よくしぼったフキンでふき取る。 ※丸洗いはしない。
本体外側 	

各部	お手入れのしかた
アロマトレイ 	水でスポンジを使って洗い、乾いた布でふく。残ったアロマオイルをふき取る。
電源プレート 	乾いた布でふく。 ※丸洗いはしない。
電源コード 	

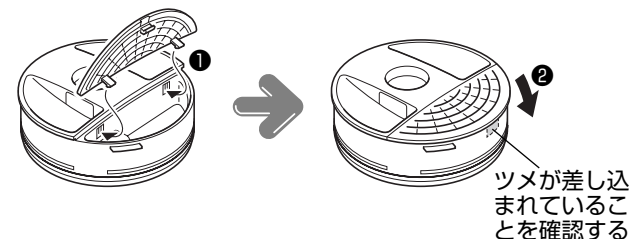
注意 ●本体や電源プレートを、水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電のおそれ。 ●洗剤・シンナー・クレンザー・金属たわし・化学ぞうきん・ナイロンたわし・漂白剤などは使わない。 ●食器洗浄機・食器乾燥器に入れて乾燥させない。変形の原因。 ●お手入れ後は、各部品を必ずもとの位置に取りつける。正しく取りつけられていないと故障の原因。

蒸気孔ふたのはずしかた・つけかた

■はずしかた



■つけかた



長期間使わないとき

- P.12・13の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。
- 各部を自然乾燥させる。(特に内容器は十分に乾燥させる。)
- 虫やほこりなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管する。

注意

- 湿ったまま保管しない。カビの発生する原因。
- 数日間使わないときは、内容器に残った水をすてる。

ミネラル成分について

水の中に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が、内容器に付着して下記のようなことがあります。有害ではありません。汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→右記

- ・内容器に、サビのような赤いはん点ができた。
- ・内容器が乳白色・黒色・虹色などに変色した。
- ・お湯に白い浮遊物が浮く。

注意

内容器は、こまめにお手入れし、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→右記
ミネラル成分がたまと、加湿中の音が大きくなる原因。

内容器のクエン酸洗浄のしかた

(1～3カ月に1回の目安)

- クエン酸 約30g(大さじ2～3杯)を、内容器に入れる。
- 満水目盛まで水を入れてまぜ、ふたをつける。(お湯は入れない。)→P.7
- 差込プラグを接続して、弱運転で約2時間加湿する。→P.8・9
- 本体が冷めてから、差込プラグとふたをはずして、水をすてる。→P.10・11
- 汚れが残っているときは、やわらかいスポンジでこすり落とす。(落ちにくいときは、再度クエン酸と水を入れて同じ操作をする。)
- 内容器をすすぐために、水だけを入れて、強運転で約30分間加湿する。→P.8・9
- 本体が冷めてから、差込プラグとふたをはずして、水をすてる。→P.10・11

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先→P.17」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸(約30g×4包入り)
品番	PKS-0120

※クエン酸は、食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

6 お手入れのしかた

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

ふたパッキン(消耗品)

1年を目安に確認し、下記のようになってきたら交換する。

(倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。)

- ・白く変色した。
- ・汚れや破損がひどくなった。
- ・ふたのすき間から蒸気もれ出した。

部品番号	ATC1004
------	---------

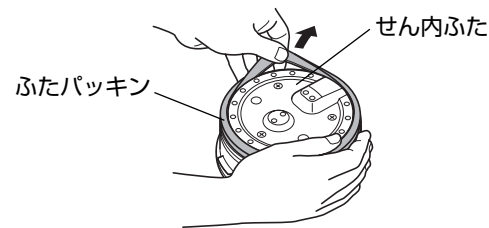
樹脂部品(傷んできたとき)

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。

変色したりザラザラしてきた場合は、交換する。(有償修理)

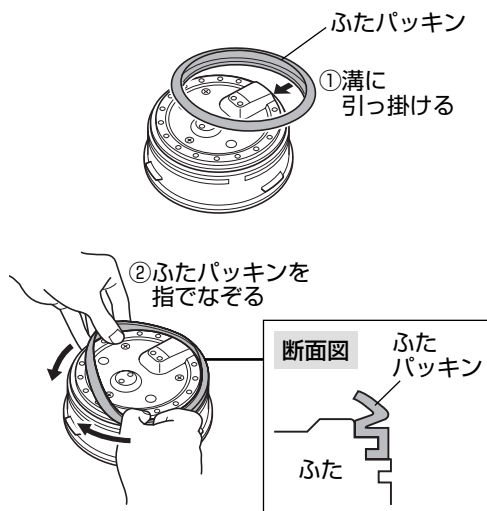
ふたパッキンのはずしかた

ふたパッキンをはずす。

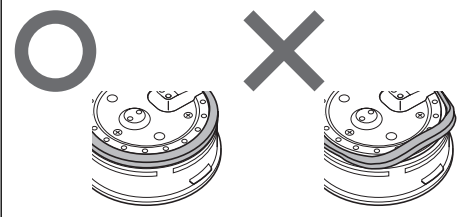


ふたパッキンのつけかた

新しいふたパッキンを、せん内ふたの外周にきつちりとはめ込む。



確実にハマっていることを確認する



注意 ●せん内ふたなどの部品をふたからはずさない。蒸気もれやお湯のふきこぼれ、やけどをするおそれ。

●ふたパッキンを交換しても蒸気もれたり、お湯がふきこぼれるときは、その他のパッキン類、成形品などが傷んでいる場合があります。上記にてお買い求めください。

7 故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

警告 修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
ON/OFFスイッチを押しても運転しない	電源コードがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	8
	電源プレート上面や電源プレート接続部に、金属片やごみが付着していませんか。	プラグを抜いてから、金属片やごみを取り除いてください。	3
	チャイルドロックがセットされていませんか。	ON/OFFスイッチを長押し(約3秒以上)し、チャイルドロックを解除してください。	10
ON/OFFスイッチを押すと、「ピピピ」と音がして、強ランプが点滅する	本体が電源プレートに正しくのっていますか。	正しくのせてください。強ランプが消灯することを確認して、ON/OFFスイッチを押してください。	8
	ふたが確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。強ランプが消灯することを確認して、ON/OFFスイッチを押してください。	7
加湿中に、「ピピピ」と音がして、強ランプ、または弱ランプが点滅する	本体が電源プレートに正しくのっていますか。	正しくのせてください。強ランプまたは弱ランプが消灯することを確認して、ON/OFFスイッチを押してください。	8
	ふたが確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。強ランプまたは弱ランプが消灯することを確認して、ON/OFFスイッチを押してください。	7
蒸気が出ない	水が入っていない状態でスイッチを「ON」にしていませんか。カラだき防止機能が働くとスイッチが「OFF」になります。	給水して、加湿してください。	7~11
	加湿中は、自動的に電源を切ったり入れたりするため、蒸気が連続して出ませんが、故障ではありません。		
給水ランプが消灯しない	給水ランプが点灯し、内容器の水が少なくなっていないですか。	給水して、加湿してください。	9
	給水ランプが点滅し、カラだきしていませんか。	給水して、加湿してください。※給水しても、給水ランプが点滅している場合は、修理をご依頼ください。	9
湿度が上がらない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	16
	換気をしていませんか。	窓・戸を閉めてお使いください。	-
ふたから「カラカラ」という音がある	「カラカラ」という音は、万一転倒した場合、お湯の流出を防止する弁(せんバルブ)の音です。		7

保証とサービスについて

※修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら」(P15・16) をご覧になり、お調べください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内 …… おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき …… まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。

①製品名 ②品番 ③製品の状況(できるだけくわしく)

4 スチーム式加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 …… 不具合の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。

部品代 …… 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口(下記)までご相談ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
「ゴー」という音がする。	「ゴー」という音は、加湿中に発生する泡がはじける音です。		-
「ゴー」という音がいつもより大きい。	内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。	クエン酸洗浄をしてください。	13
においが出る	内容器が汚れていませんか。	内容器のお手入れをしてください。	10・12・13
	内容器の水を放置したままになっていませんか。	内容器の水は毎日新しい水道水と交換してください。また、内容器に残った水は毎日すててください。	10・12・13
ふたと本体の間から蒸気がもれる	ふたパッキンがついていますか。または傷んでいませんか。	ふたパッキンを正しくつけてください。傷んでいる場合は、新しいパッキンと交換してください。	14
内容器に異物がたまる	内容器を定期的にお手入れしていますか。	こまめにお手入れしてください。	12・13
	水道水以外の水を内容器に入れて運転していませんか。	必ず水道水を使ってください。	5
内容器が汚れている。(お湯に白い浮遊物が浮く。)	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食ではありません。	クエン酸洗浄をしてください。	13
プラスチック部分に線状や波状の箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		-
使用後しばらくすると音がすることがある。	熱せられた部品の冷めるときに発生する音ですので、使用上の品質に問題ははありません。		-

仕様

電源	交流100V 50-60Hz
消費電力	450W
加湿量*1	強：300mL/h、弱：100mL/h
容量*1	1.05L
連続加湿時間*1*5	強：3時間、弱：10時間
適用床面積*2	木造和室「強：8m ² 、弱：2.8m ² 」 プレハブ洋室「強：14m ² 、弱：4.7m ² 」
外形寸法*1*3 (幅×奥行×高さ)	18.5×18.5×21.8cm
質量*1*3*4	1.5kg
コードの長さ*1	1.2m

*1 おおよその数値です。

*2 使用状況、環境により異なります。

*3 本体を電源プレートにのせた状態。

*4 電源コードを含む。

*5 水量：満水、水温・室温：20℃、電圧：交流100V

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-011101** 市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日 (祝日・弊社休業日を除きます)

※携帯電話・PHSとIP電話等(ナビダイヤルを利用できない電話)の方はこちらへ TEL (06) 6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger.jp/shop.html>